別紙

## 京都府公立高等学校入学者選抜に係るアンケート結果について

#### 1. 調査概要

## ■ 調査目的

京都府公立高等学校において、平成26年度入学者から導入した新しい入学者選抜制度 により入学した生徒及びその保護者にアンケート調査を実施し、今後の高等学校での教 育活動や特色づくりに生かすとともに、中学校での進路指導の充実に資することを目的 とする。

#### ■ 実施時期

平成 26 年 6 月

### ■ 調査対象

- 生 徒-府内全公立高校(全日制課程)の1年生(全員)
- 保護者-府内全公立高校(全日制課程)の1年生の保護者(全員)

#### ■ 調査方法

- 回答は選択肢による簡易なものとし、自由記述はなし(マークシート用紙記入)
  ※マークシート用紙を各高校に配付
- 任意調査
- 全地域共通項目+京都市・乙訓地域独自項目

#### 2. 回答者数

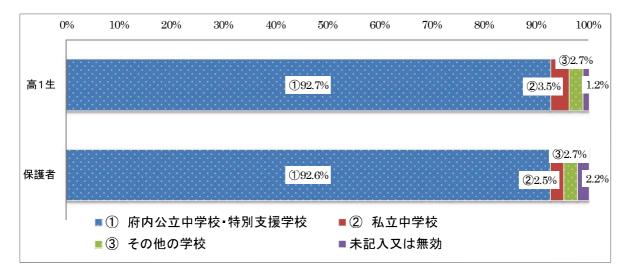
通		学		巻	対 象 生 徒 数 (保護者も同数)	回	答	者	数	回答率
京都市・乙訓通学圏					6,934 人	生	徒	6,220	)人	90%
因子 <b>即</b> 间				ア国	0,934 八	保護	者	4,257	′人	61%
山坊	城	通	学	圏	3,060 人	生	徒	2,957	'人	97%
	坝	囲				保護	者	1,757	′人	57%
	丹	通	学	匿	936 人	生	徒	910	)人	97%
	)]					保護	者	515	5 人	55%
中	丹	诵	学	巻	1,340 人	生	徒	1,317	′人	98%
Т	)1	μ <u>π</u>				保護	者	932	2 人	70%
丹	後	通	学	匿	932 人	生	徒	926	;人	99%
万丁 1	1反	囲				保護	者	607	′人	65%
合				計	13,202 人	生	徒	12,330	)人	93%
				Ρl	15,202 八	保護	者	8,068	3 人	61%

全体調查対象者数	26,404 人
全体回答者数	20,398 人
全体回答率	77%

## <調査結果>

## 1. あなたの(お子様の)出身中学等を選択してください。

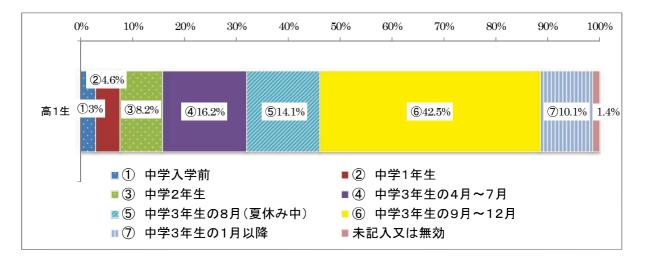
① 府内公立中学校・特別支援学校 ② 私立中学校 ③ その他の学校



## 2. あなたが志望する高校(国立・私立を含む)を決定した時期はいつごろでしたか。 【生徒のみ回答】

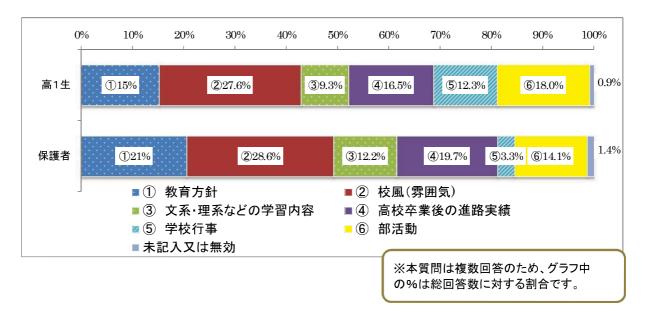
① 中学入学前 ②中学1年生 ③中学2年生 ④ 中学3年生の4月~7月

⑤ 中学3年生の8月(夏休み中) ⑥中学3年生の9月~12月 ⑦中学3年生の1月以降



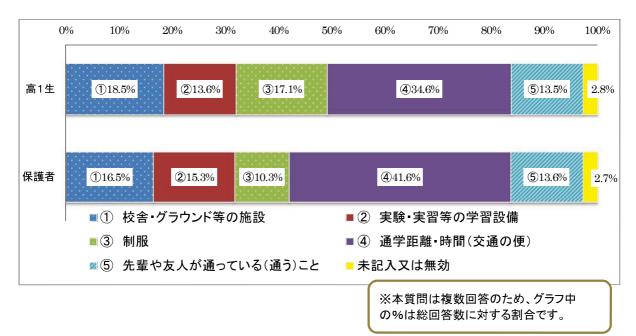
3. あなたが(お子様が)入学した高校を選択するにあたって大切にした事項を、以下のグループから、それぞれ3つまで選んでください。 <グループ1>

① 教育方針
 ② 校風(雰囲気)
 ③ 文系・理系などの学習内容
 ④ 高校卒業後の進路実績
 ⑤ 学校行事
 ⑥ 部活動



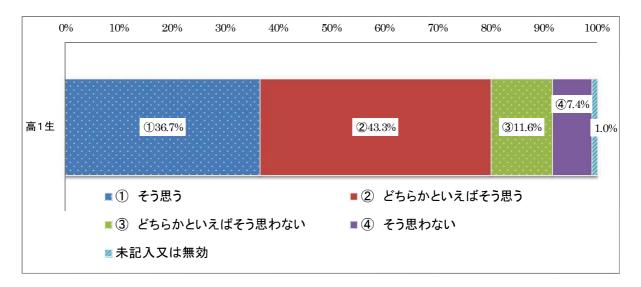
4. あなたが(お子様が)入学した高校を選択するにあって大切にした事項を、以下のグループから、それぞれ3つまで選んでください。<グループ2>

- ① 校舎・グラウンド等の施設 ② 実験・実習等の学習設備 ③ 制服
- ④ 通学距離・時間(交通の便) ⑤ 先輩や友人が通っている(通う)こと



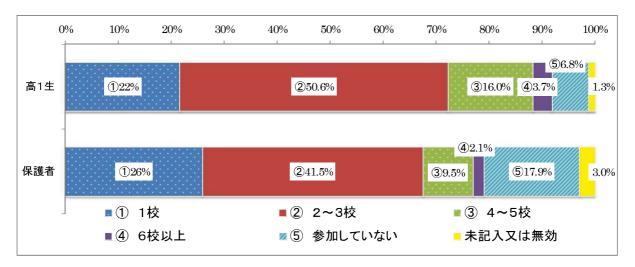
5. あなたは、公立高校の特色を調べたり、実際に高校見学をしたりするなどして、自分の興味・関心、個性、将来の進路希望等に合った高校を、積極的に選択するよう努めましたか。 【生徒のみ回答】

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない



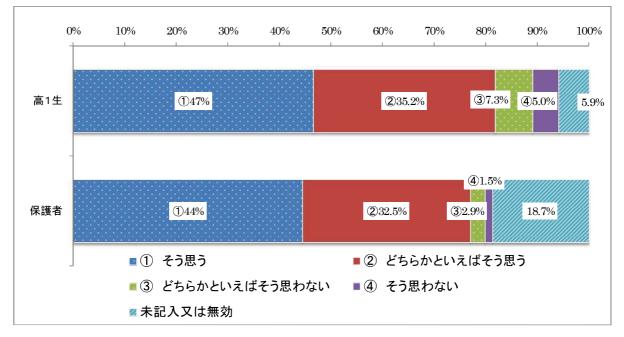
6. あなたは(保護者として)何校の公立高校の説明会(オープンスクール)に参加しましたか。





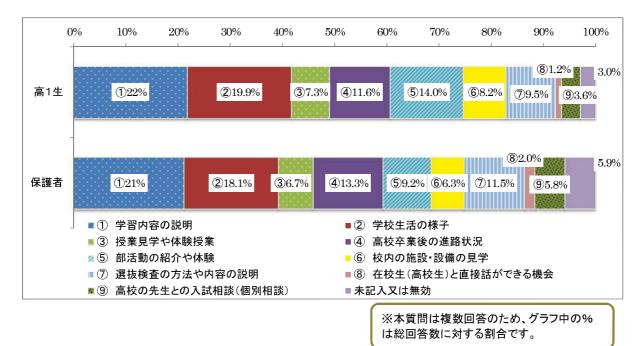
7. 公立高校の説明会等で得た情報が、志願する公立高校を選択するうえで役に立ちましたか。

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない



8. 志願する公立高校を選択するうえで、(保護者として)公立高校の説明会等で得た情報の 中で、最も参考となった事項を以下から3つまで選んでください。

- ① 学習内容の説明 ② 学校生活の様子 ③ 授業見学や体験授業 ④ 高校卒業後の進路状況
- ⑤ 部活動の紹介や体験 ⑥ 校内の施設・設備の見学 ⑦ 選抜検査の方法や内容の説明
- ⑧ 在校生(高校生)と直接話ができる機会 ⑨ 高校の先生との入試相談(個別相談)

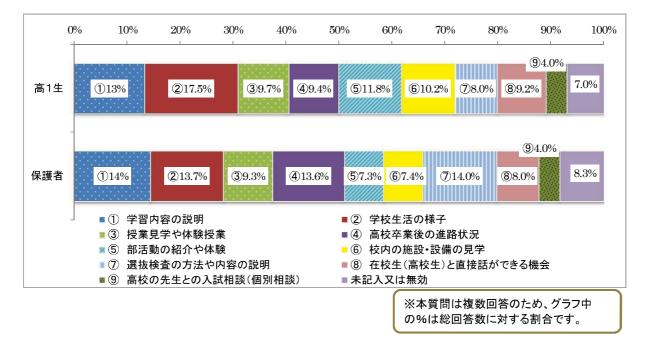


9. 志願する公立高校を選択するうえで、(保護者として)公立高校の説明会等で示してほしかった、又は詳しく説明してほしかった情報を以下の事項から3つまで選んでください。

① 学習内容の説明 ② 学校生活の様子 ③ 授業見学や体験授業 ④ 高校卒業後の進路状況

⑤ 部活動の紹介や体験 ⑥ 校内の施設・設備の見学 ⑦ 選抜検査の方法や内容の説明

⑧ 在校生(高校生)と直接話ができる機会 ⑨ 高校の先生との入試相談(個別相談)



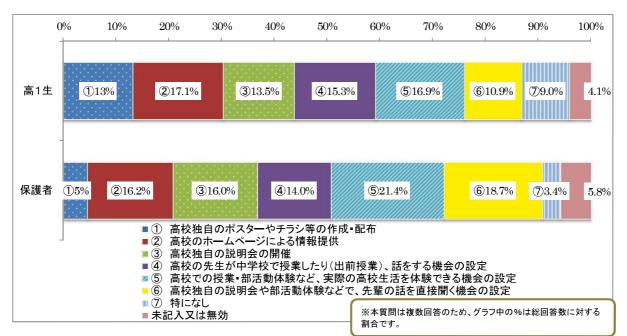
10.9の事項について中学生が一層理解するために、公立高校に積極的に取り組んでほしいことを以下の事項から3つまで選んでください。

① 高校独自のポスターやチラシ等の作成・配布 ② 高校のホームページによる情報提供

③ 高校独自の説明会の開催 ④ 高校の先生が中学校で授業したり(出前授業)、話をする機会の設定

⑤ 高校での授業 部活動体験など、実際の高校生活を体験できる機会の設定

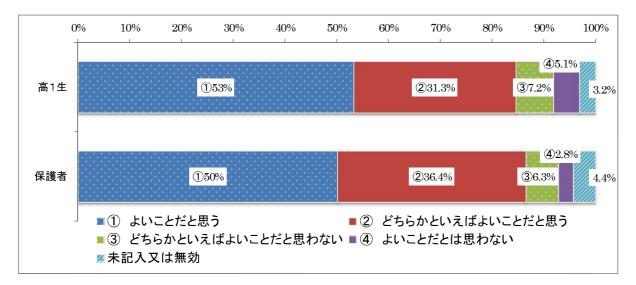
⑥ 高校独自の説明会や部活動体験などで、先輩の話を直接聞く機会の設定 ⑦ 特になし



11. 今回の見直しにより、これまで以上に幅広い公立高校の中から、それぞれの特色や自分 が取り組みたいことなどに応じて、志願する高校を自由に選べるようになりました。このことに ついて、どう思いますか。 【京都市・乙訓通学圏のみ】

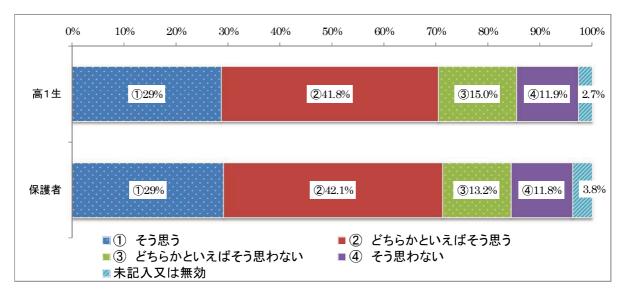
① よいことだと思う ② どちらかといえばよいことだと思う

③ どちらかといえばよいことだと思わない ④ よいことだとは思わない

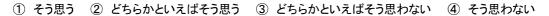


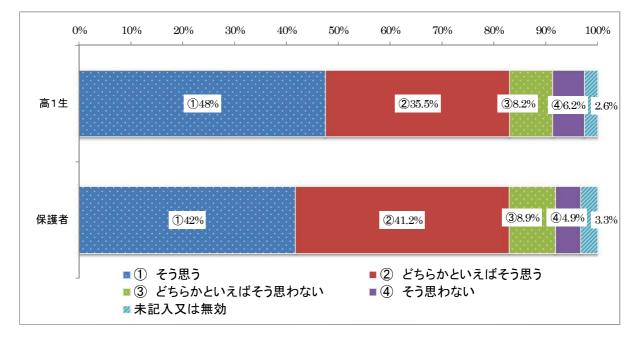
## 12. 今回の見直しによって、(お子様の)中学校での学習に取り組む意欲が向上したと思いま すか。 【京都市・乙訓通学圏のみ】

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない



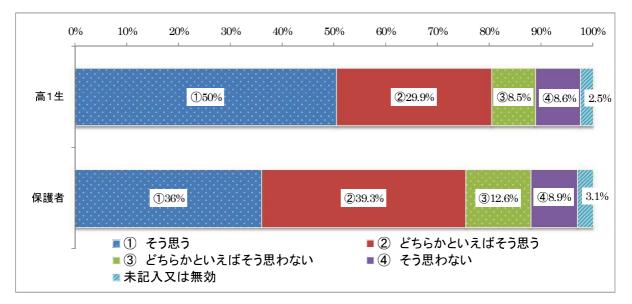
## 13. 多くの高校の中から、志願する高校を決めることが自分の(お子様の)将来や目標を考える機会となったと思いますか。 【京都市・乙訓通学圏のみ】





14. 京都府・京都市教育委員会では、昨年の12月に中学校等卒業予定者の進路希望調査 (11月15日現在)を公表しました。この調査結果は志望する高校を決定するうえで、参考に なったと思いますか。 【京都市・乙訓通学圏のみ】

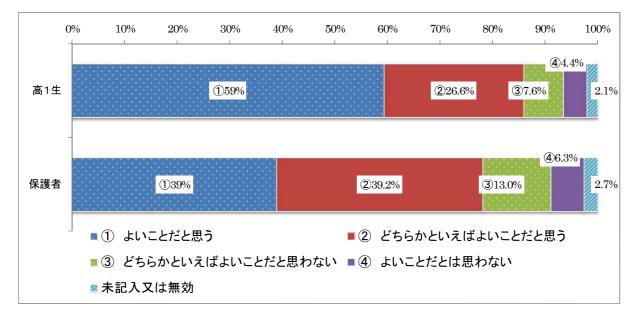
① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない



15. 前期選抜、中期選抜、後期選抜と複数回の受検機会を設けています。複数回の受検機会についてどう思いましたか。

① よいことだと思う ② どちらかといえばよいことだと思う

③ どちらかといえばよいことだと思わない ④ よいことだとは思わない



16. 前問15で「① よいことだと思う」または「② どちらかといえばよいことだと思う」を選択した人は次の①~⑤から理由を1つ選んでください。

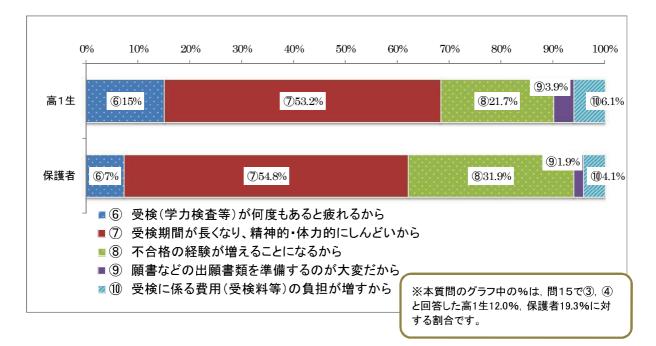
- ① 面接や作文を行う選抜など様々な方法で受検できる機会があるから
- ② 第一希望校に複数回チャレンジできるから ③ 色々な高校(学科)を受検できるから
- ④ 公立高校に進学できる機会が増えるから ⑤ 体調が悪くても次の受検機会があるから



◆前問15で「③ どちらかといえばよいことだと思わない」または「④ よいことだと思わない」 を選択した人は次の⑥~⑩から理由を1つ選んでください。

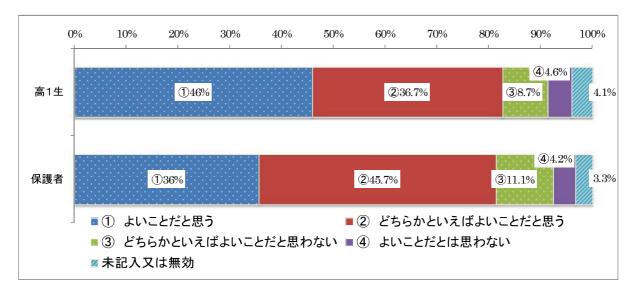
- ⑥ 受検(学力検査等)が何度もあると疲れるから ⑦ 受検期間が長くなり、精神的・体力的にしんどいから
- ⑧ 不合格の経験が増えることになるから ⑨ 願書などの出願書類を準備するのが大変だから

11 受検に係る費用(受検料等)の負担が増すから



17. 前期選抜については、A方式・B方式・C方式の選抜方式の中から各公立高校が方式や 選抜項目を定めて実施しています。学力検査や中学校からの報告書以外の小論文(作文) や面接、活動実績報告書、実技検査といった多様な検査項目があることについて、どう思い ますか。

- ① よいことだと思う ② どちらかといえばよいことだと思う
- ③ どちらかといえばよいことだと思わない ④ よいことだとは思わない



# 18. 中期選抜で第1・2順位、第2志望まで複数の公立高校(学科)を志願できることについて どう思いますか。

① よいことだと思う ② どちらかといえばよいことだと思う

③ どちらかといえばよいことだと思わない ④ よいことだとは思わない

